



National
Parks
of Japan



20210913 第4回「新たな旅のスタイル」に関する検討委員会

【資料8】

国立公園等における 関連予算及び取組状況等について

環境省 自然環境局

国立公園課 国立公園利用推進室



国立公園等での誘客やワーケーションの推進によりライフスタイル変革と地域活性化を図ります。

1. 事業目的

- ①国立公園等で「遊び、働く」という健康でサステナブルなライフスタイルを推進し、地方創生に貢献。
- ②感染症対策を徹底した上で、国立公園、国民保養温泉地等において魅力的な冬期・春期のツアー等やワーケーションを実施することで、新型コロナウイルス感染拡大により減退した公園利用の反転攻勢と地域経済の再活性化を図る。

2. 事業内容

新型コロナウイルスにより、国立・国定公園及び国民保養温泉地では、観光事業者等に甚大な影響が出ている。一方、自然体験、サステナビリティ、健康等への関心が高まっており、国立公園等は大きなポテンシャルを有している。

- ①国立・国定公園での滞在型ツアーの推進
地域一体となった自然体験型のツアー等の企画・実施・準備、海岸清掃・修景伐採等の環境整備、感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。
- ②国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進
地域一体となったワーケーションの企画・実施、Wi-Fi等の環境整備、パーティーやCO2濃度センサー設置等の感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を支援。
- ③国内外向けプロモーション
国立公園等の魅力を訴求するプロモーション等を実施。

3. 事業スキーム

- 事業形態 間接補助事業（定額、1/2、2/3）、請負事業
- 補助対象 地方公共団体・民間事業者（山小屋等）・団体・協議会等
- 実施期間 令和2年度

4. 事業イメージ



- ・自然体験、サステナビリティ、健康等への関心が高まっており、それを踏まえたツアー等の造成を支援



- ・感染症対策を徹底した温泉宿等のワークスペースで健康かつクリエイティブに働けるワーケーションを推進



- ・各地域で滞在型ツアーやワーケーションを推進し、国立公園等の魅力とともにプロモーション

国立公園等への誘客およびワーケーション推進事業（3次補正予算24億円）

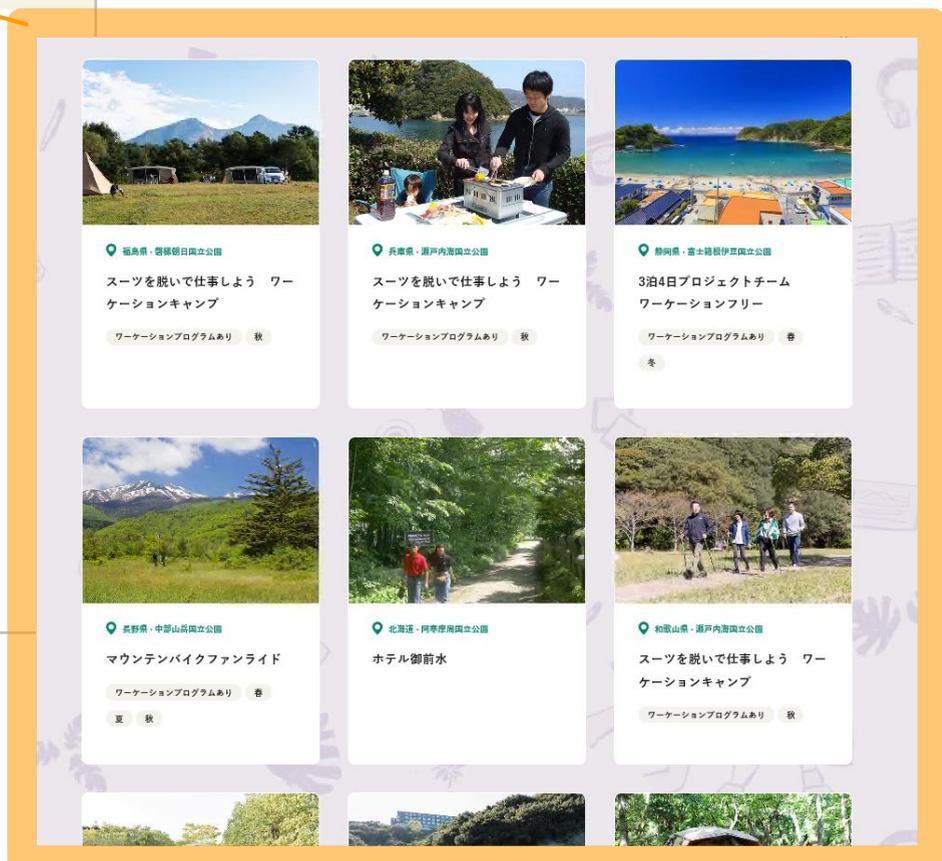
| | 1次公募 | | 2次公募 | |
|-------------------------|------|------|------|------|
| | 申請状況 | 採択案件 | 申請状況 | 採択案件 |
| 滞在型ツアー （ワーケーション関連含む） | 283件 | 265件 | 96件 | 37件 |
| ワーケーションの推進 | 83件 | 78件 | 24件 | 8件 |
| ワーケーションの環境整備 | 34件 | 29件 | 7件 | 3件 |
| 合計 | 400件 | 372件 | 127件 | 48件 |

- 地方公共団体や自然体験アクティビティ等を行う事業者やDMO（観光地域づくり法人）等に対し、国立・国定公園での滞在型ツアーの企画・実施および海岸清掃・修景伐採・歩道修繕といったツアー準備、感染症対策、e-bike利用等による脱炭素化等を補助
- 国立・国定公園、国民保養温泉地のキャンプ場・旅館・ホテル等の事業者、DMO、地域協議会等に対し、ワーケーションツアー等の企画、実施、プロモーション、Wi-Fi等の環境整備を補助
- ワーケーション関連の申請（WiFi環境の整備、モニターツアーの実施、ワーケーション参加者向けのアクティビティ開発等）として合計149件、約5.5億円を採択

国内誘客の強化

国内利用者向けサイト「国立公園に、行ってみよう」

随時コンテンツ拡充中！



補正予算事業等により支援を行った国立公園内等でワークショップができる施設を紹介。各事業者・施設のサイトへリンク。



【令和4年度要求額 540百万円（540百万円）】

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります。

1. 事業目的

- ① 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- ② 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

2. 事業内容

平成28年3月に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つに国立公園が位置づけられ、国立公園訪日外国人利用者数は2019年に667万人まで増加。しかし、**新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が大幅に減少**し、国立公園の観光地で大きな打撃が生じた。これを踏まえ、**国内利用客の早期回復、ゼロカーボンパーク推進を含む脱炭素型の持続可能な観光地の形成、インバウンドの受入環境向上と段階的回復**に向け、以下を実施

- ・ **国内誘客の強化・情報発信**（認知向上、**ワーケーション等の新たな利用層の獲得**、自然体験アクティビティの情報発信、旅行博等）
- ・ **脱炭素型の公園づくりの推進**（計画等の検討、持続可能なツーリズム推進）
- ・ **世界水準の国立公園づくり、公園全体の受入体制の底上げ**（広域周遊、自治体・民間団体等との連携促進、人材育成等）
- ・ **公園事業の改善指導、利用者負担の保全の仕組みづくりの推進**

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 平成28年度～

4. 事業イメージ



魅力的な自然体験アクティビティやワーケーション等の情報発信、旅行博の出展、コンテンツ充実、ガイド等の人材育成等



持続可能なツーリズム推進のための取組計画検討、複数公園や周辺観光地含む広域周遊促進、地域協議会の開催、公共施設の官民連携推進



入域料や保全協力金等の導入に向けたアンケート調査、実証実験、導入に向けた計画づくりの実施